

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道38号 釧路新道 <small style="font-size: small;">くしろしんどう</small>	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 北海道開発局
起終点：自：北海道釧路市新野 <small style="font-size: small;">ほっかいどうくしろ にいの</small> 至：北海道釧路市北園 <small style="font-size: small;">ほっかいどうくしろ きたぞの</small>	延長	8.8 km
事業概要 一般国道38号は、滝川市から釧路市に至る延長約310kmの幹線道路である。 このうち釧路新道は、釧路市街部の交通混雑の緩和、物流の効率化等の支援を目的とした釧路市新野から北海道横断自動車道釧路インターチェンジに至る延長約9kmの事業である。		
H4年度事業化	S53年度都市計画決定	H4年度用地着手
全体事業費	約498億円	事業進捗率 69% 供用済延長 7.7km
計画交通量	11,100～22,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.2 (残事業) 2.3	総費用：(残事業)/(事業全体) 139/603億円 (事業費：127/570億円) (維持管理費：12/33億円)
	総便益：(残事業)/(事業全体) 316/728億円 (走行時間短縮便益：273/647億円) (走行経費減少便益：29/69億円) (交通事故減少便益：13/12億円)	基準年： 平成22年
感度分析の結果 ： 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.7(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.1(事業費+10%) B/C=2.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.2(事業期間+20%) B/C=2.4(事業期間-20%)		
事業の効果等 定性的な効果 ①交通混雑の緩和 ・広域環状道路が形成され、釧路市街地の交通混雑緩和が期待される。 ②農水産品の流通利便性向上 ・標茶町や弟子屈町で生産される生体牛の輸送効率化が期待される。 ③周遊観光の利便性向上 ・北海道周遊観光における移動時間の短縮及び観光滞在時間の延長が実現され、利用者の負担軽減及び観光地の魅力向上が期待される。 ④空港へのアクセス向上 ・釧路市などの周辺地域から釧路空港へのアクセス向上が期待される。 ⑤CO2排出量の削減 ・当該道路の整備により自動車からのCO2排出量が削減される。		
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 釧路市など1市6町1村の首長で構成される北海道釧路地方総合開発促進期成会等より整備の要望を受けている。 知事の意見： 釧路市街の交通混雑解消や物流の効率化を図ることにより、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続については異議はない。 なお、事業の実施にあたっては、都市計画に沿って整備を図るとともに、環境への影響を最小限にとどめること。また、徹底したコスト縮減により総事業費の圧縮を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的に執行し、早期供用を図ること。		
事業評価監視委員会の意見 当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断するが、今後は以下に留意されたい。 ・公共交通機関へのアクセス向上等の効果について、可能なものは評価するよう努めること。		

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 釧路新道が順次延伸整備され、平成21年度までに全延長8.8kmのうち87.5%の7.7kmが供用
- ・ 平成15年度までに北海道横断自動車道池田インターチェンジ～本別インターチェンジ、本別ジャンクション～足寄インターチェンジが供用され、平成21年度に本別インターチェンジ～浦幌インターチェンジが供用
- ・ また、平成17年10月に釧路市、阿寒町、音別町が釧路市として合併

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成4年度に工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率69%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期供用に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等に変更はないが、引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

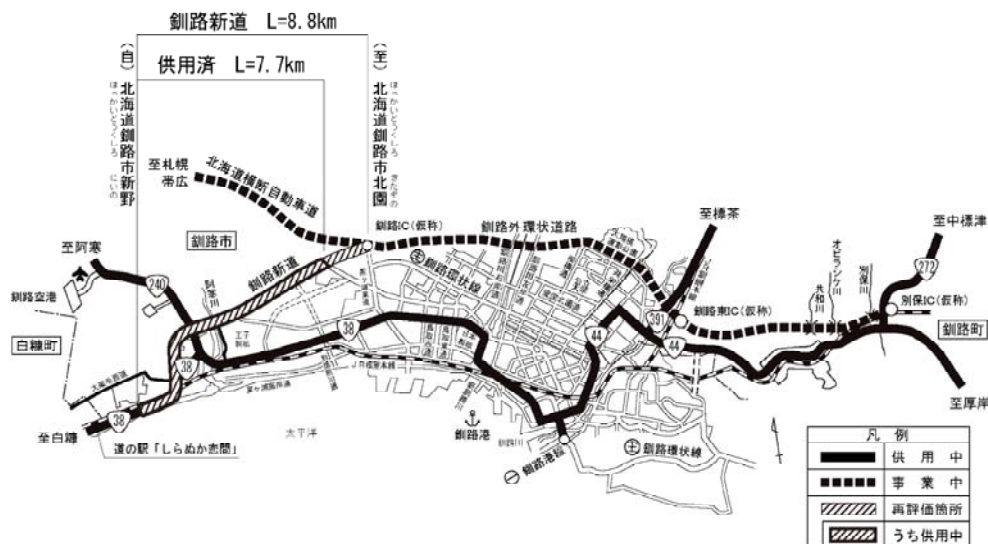
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性・重要性は変化なく、費用対効果等の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。